

## 林野庁長官賞

### 新世代原木販売システム”やまぐちログネット”の開発・運用 ーインターネットの活用・流通コストの削減へー

山口県森林組合連合会 （代表理事会長 河村建夫）

#### □事業体の構成

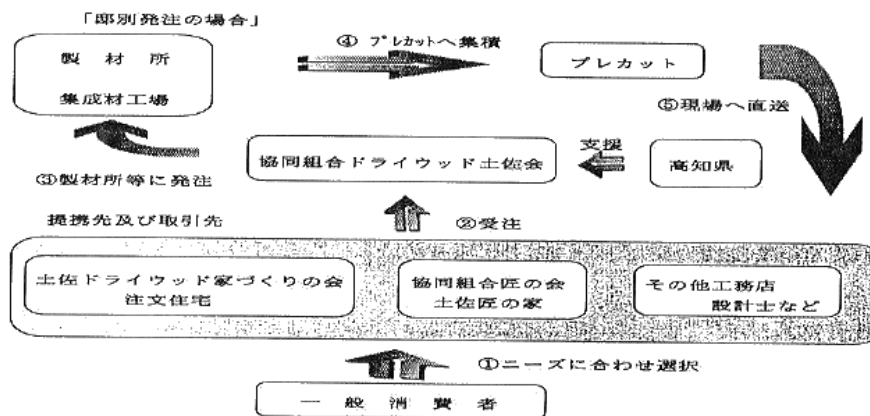
県森連本会 木材共販所5ヶ所

〒753-0048 山口県山口市駅通り2-4-17

TEL 083-922-1955 FAX 083-922-1979



#### □事業の仕組み



## 1. 地域の概要

山口県の森林面積は435千haで、県土の71%を占めている。森林の経営形態は、民有林が422千haで森林面積97%を占め、国有林は3%にすぎない。民有林の樹種別面積構成は、スギ15%、ヒノキ19%、マツ類22%、広葉樹40%、竹林等4%となっている。

## 2. 事業内容等

### (1) 事業の目的

原木共販システムの合理化及び販売の拡大に向けて、急速に進歩・普及するインターネット等の高度情報ネットワークを活用し、5共販所での統一基準による原木の仕分・格付けシステムにより、現物熟覧の必要のない並材を対象としたインターネット原木販売システムを構築し、並材販売における流通コストの削減、需要者に対する市場サービス機能の強化、出荷者に対する利益還元機能の強化を図る。

## (2) 事業の内容

### ①原木流通合理化情報システムの整備

原木流通合理化情報システムは、県下5ヶ所の原木流通拠点施設（共販所）及び原木流通情報集中処理施設（本会）を情報処理機器で結び各拠点施設での原木集荷、在庫情報等を中央情報処理施設でデータベース化し、インターネットを通じて、原木集荷、在庫、原木市況等の原木に関する各種情報を市場利用者や消費者へ提供する。

### ②新世代原木販売システムの整備

新世代原木販売システムは、原木流通合理化情報システムとリンクすることにより、市日前から原木入荷情報、市況情報の事前入手が可能となる他、木材共販所に来場することなくインターネットのホームページ上で画像を見ながら入札に参加でき、より多くの方の入札参加が可能となるなど、市場利用者に対するサービスの拡大を図る。

## (3) 施設の整備状況

### 中央情報処理施設

サーバー、パソコン、通信機器等

### 原木流通拠点情報処理施設

5ヶ所パソコン、通信機器

## (4) 事業の実績

“やまぐちログネット”は、平成12年5月から運用を開始しており、10月末までの半年間で、取扱量は2,500m<sup>3</sup>、システム登録会員数は22社、インターネットへのアクセス件数は約6,000件となっている。

#### (5) 事業の成果（事業体の評価）

閉鎖的な商取引に終始する原木販売や木材に関する情報をリアルタイムに共有することが可能となり、これが関係業者はもとより原木流通の拠点として山元と、消費者の情報交換の場としても利用されている。

#### (6) 今後の取組み

現在、システム利用登録業者が22社となっているが、より多くの市場利用者にシステムをPRし、登録事業者の拡大を図り、顧客の増大、木材需要の拡大を図る。また、木工製品や製材品等の取扱いについても検討を進めており、インターネットを利用した新しい市場の拡大にも取り組む。